



和琴だより

弟子屈町立和琴小学校

令和7年11月28日 発行者 校長 工藤 博之

～学校と家庭と地域で子育てする和琴小～

■学校教育目標

よく考え正しく判断できる子 (知)

強い心と体でやり抜く子 (体)

優しい心で助け合う子 (徳)



12月と言えば

校長 工藤 博之

12月は和風月名で「師走(しわす)」と呼ばれます。「普段は落ち着きのある僧侶が走り回るくらい忙しい月」という説が知られています。学校の先生=教師も「師」という漢字が付く職業で、12月になると確かに忙しくなる月ではあります。「学校はブラック企業だ」と世間では騒がれていますが、保護者や地域の皆様から和琴小学校の教職員はどのように見えているのでしょうか?忙しくて走り回っているように見えますか?忙しくても忙しそうに見せないのが「プロ」だと思います。

さて、話はかわりますが、文部科学省では、『学校における働き方改革』の目的を「教師のこれまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに、その人間性や創造性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動を行うことができるようにすること」としています。【子どものため=教師のため】に繋がることが本質だと私は日頃から思っています。(子どものために)「こんな学習をしよう」「こんな活動を計画しよう」「(様々な)力をつけさせたい」など、そのために学校は、計画・企画、相談、検討、実行、反省・改善のサイクルをして、より良くしていこうと、日々取り組んでいます。先日まで行っていた個人面談では、学校での生活や学習の様子、ご家庭からの願いなどを共有する貴重な時間のとなりました。このような機会も子どもたちに対しての効果的な教育活動を行うためのヒントがたくさんあります。【子どものため=教師のため】に繋がっております。

令和7年も残すところあと1ヶ月となりました。12月と言えば何を連想しますか?冬、雪、冬休み、クリスマス、大晦日、大掃除、除夜の鐘、年越しそば...学校では、子どもたちの学びの評価時期となるので、通知表でしょうか。終業式の日には通知表を配布します。先生方は、子どもの頑張りをご家庭に伝わるように作成します。来年度の通知表に係わって前向きな見直しを検討しています。詳細は12月の参観日に行われる全体懇談会でお伝えすることとなります。子どもたちの学びと成長を参観頂き、懇談会への参加もよろしくお願いいたします。

<12月の行事> 下校時刻は、前半が5時間・後半が6時間

日	曜	行 事	下校時刻	給食
1	月		14:00 14:55	○
2	火	学力検査(全学年) ALT	14:00 14:55	○
3	水	学力検査(3~6年) 全校集会	14:00	○
4	木		14:00 14:55	○
5	金	参観日 学級懇談 ALT 定時退勤日	14:00	○
6	土	週休日		×
7	日	週休日		×
8	月	午前授業 清掃週間(~19日) 赤い羽根募金(~13日)	12:40	○
9	火	ALT	14:00 14:55	○
10	水	アイヌ文化体験教室 読み聞かせ	14:00	○
11	木	図書館バス 性に関する指導(中学年)	14:00 14:55	○
12	金	ALT	14:00 14:55	○
13	土	週休日		×
14	日	週休日		×
15	月	地熱発電出前授業(高学年)	14:00 14:55	○
16	火	思春期保健講座(高学年) ALT	14:00 14:55	○
17	水	性に関する指導(低学年)	14:00	○
18	木		14:00 14:55	○
19	金	ALT 定時退勤日	14:00 14:55	○
20	土	週休日		×
21	日	週休日		×
22	月		14:00 14:55	○
23	火	ALT	14:00 14:55	○
24	水	大掃除	14:00	○
25	木	2学期終業式 図書館バス	12:45 14:00	○
26	金	冬季休業(1/14~)		
27	土	週休日		
28	日	週休日		
29	月	学校閉庁日		
30	火	学校閉庁日		
31	水	学校閉庁日		

学校閉庁日 12/29(月)~1/3(土)

【緊急連絡先】

弟子屈町教育委員会 015-482-2945

11月の和っ子

■KKT 中間発表会

10月29日(水)に中高学年の総合的な学習の時間「屈斜路かがやきタイム(KKT)」の中間発表会を行いました。弟子屈町の課題をもとに探究するテーマを設定し、情報収集や整理・分析したことをもとに、自分の考えをまとめました。級友や先生方だけでなく、当日は地域コーディネーターの嶋裕香さんにも発表を聞いていただき、2月末のKKT本番に向けたアドバイスをいただきました。残りの期間で更なるレベルアップを図っていきます。



■体力向上月間&強化種目測定

7月に行った体力テストの結果を踏まえ、各自が強化種目を一つ設定して、「体力向上コーナー」を参考にトレーニングをしてきました。11月の体力向上月間では、トレーニングの成果を知るために、強化種目の再測定をしました。



今回、記録が伸びて効果を実感した人も、思うような記録が出なかった人も、努力した過程を大切にしたいと思っています。そして、来年の体力テストに向けて、運動を続けていけるよう支援していきます。

■学校林伐採現場見学

6日(木)は、学校林伐採現場の見学に行きました。学校林は、学校の重要な財産や児童・生徒への環境に関する教育、体験活動を目的に、学校が保有する森林です。今回は、約70年前に植樹したトドマツ等の樹木が成長し、切ること



になったため、見学することになりました。機械を使って、次々と木が切られていくことに、大変驚きました。貴重な現場を見せていただきました。ありがとうございました。



■へき地校体験実習

11月4日(火)からの2週間、へき地校体験実習がありました。中学年にはTS先生、低学年にはMK先生が入り、複式の授業づくりや子どもとの関わりなど、様々な事を学びました。13日(木)に行われた実習期間の集大成としての研究授業には、大学の先生や本校の職員が参観し、意見交流を通して、大いに学び合うことができました。子ども達にとっても貴重な機会で、自分たちと年齢の近い大学生との出会いと交流は、大きな刺激となりました。



■ましゅうランド

19日(水)は、川湯小学校を会場に「ましゅうランド」を行いました。「ましゅうランド」では、生活科の授業の一環として、自らが準備、計画したコーナーで遊び、楽しんでもらう活動を通して、相手に喜んで



らうための工夫や自らの成長を味わうことを目的に町内の通園する園児を招き、交流しています。低学年の児童は、園児を楽しませようと、魚釣りやけん玉、迷路にロケットを作り、準備してきました。当日は、感染症流行の影響により、参加園校が少ない中での実施となりました。それでも、限られた時間の中で遊び方を説明したり、園児が困っていたら助けてあげたり



と、頼もしい一面が見られました。楽しんでもらえたことで達成感を得ることができました。また、他校の児童が作ったおもちゃでも遊ぶことができ、大満足の日となりました。

クニオカ工業様へ感謝

10日(月)に、クニオカ工業の皆様の地域貢献活動として、グラウンドに走り幅跳び用の砂場を造成していただきました。念願の砂場に子どもたちは大喜びでした。完成した砂場で早速跳んでいました。今後の授業に生かしてまいります。また、老朽化したバックネットやサッカーゴール等の撤去もしていただくことができました。

クニオカ工業の皆様、ご多用の中ありがとうございました。

